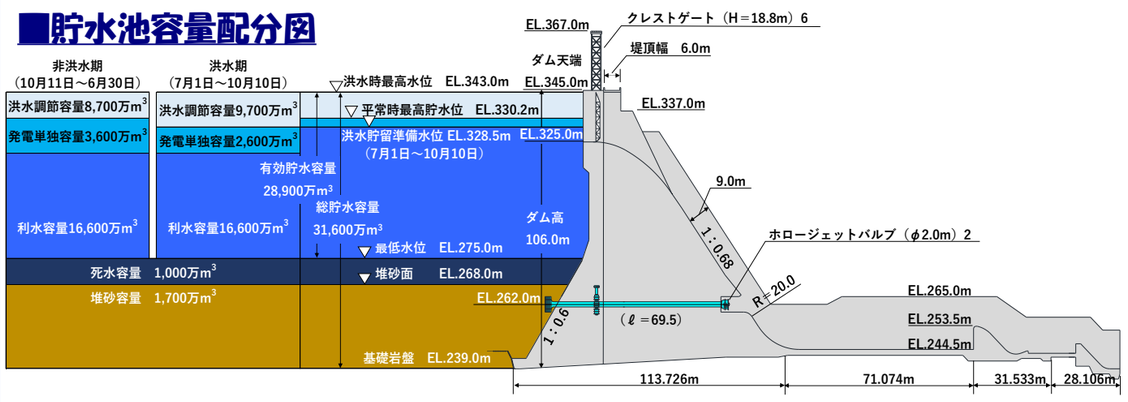
ダムの情報を提供しています！

ダム管理情報へのアクセス方法

○インターネット

https://www.water.go.jp/yoshino/ikeda/mizuinfo/index.html

■貯水池容量配分図



ver.2025.04

早明浦ダム

吉野川の地域と水をつなぎます！

－地域とともに水資源機構－

平成20年渇水時（H20.9.2）

水資源機構

早明浦ダム・高知分水管理所

高知県土佐郡土佐町田井6591-5

TEL0887-82-0485

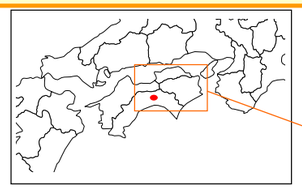
吉野川上流総合管理所ホームページ

https://www.water.go.jp/yoshino/ikeda/

早明浦ダムの概要

1．ダムの位置

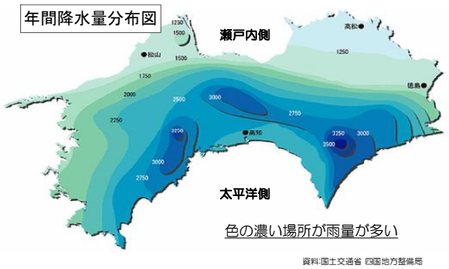
早明浦ダムは、高知県土佐郡土佐町田井と高知県長岡郡本山町吉野にまたがり、吉野川の河口から約１４０kmの位置にあります。



★吉野川の概要

吉野川は、その源を高知県瓶ヶ森に発し、四国の中央をほぼ東西に流れ、紀伊水道に注ぐ総延長１９４kmの我が国でも有数の大河川です。

吉野川の流域は四国四県にまたがり、流域面積は3,７５０km²で四国全域の面積の約２０％を占めています。



★なぜ？早明浦ダムが造られたのか。

瀬戸内側は、１年間に1,250㎜程度しか雨が降らず水不足に悩まされてきました。

これとは反対に太平洋側の高知県では、１年間に3,000㎜以上の降雨があるとともに台風の襲来等により洪水災害に悩まされていました。

問題を解決するための計画

■雨がたくさん降る地域にダムを造り、洪水をせき止めて、吉野川沿いの洪水災害の軽減を行う。

■ダムに貯えた水を水道用水、工業用水、農業用水として雨の少ない地域へ送り水不足を解消させる。

その計画の1つとして、「早明浦ダム」が造られました。

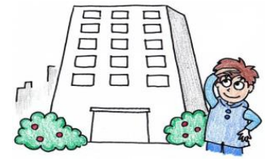
2．ダムの諸元

河川名		吉野川水系吉野川
所在	左岸	高知県長岡郡本山町吉野
	右岸	高知県土佐郡土佐町田井
目的		1. 洪水調節 2. 流水の正常な機能の維持 3. 新規用水の供給 4. 発電(水力発電)
型式		重力式コンクリートダム
堤高		106m
堤頂長		400m
堤体積		118万7千m³
流域面積		472km²（汗見川取水55km²含む）
貯水池面積		7.5km²
総貯水容量		3億1千6百万m³
有効貯水容量		2億8千9百万m³
着手／管理開始		1967(昭和42年)／1975(昭和50年)

ダムの高さ

106m

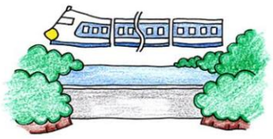
27階建てビルに相当します。



ダムの長さ

400m

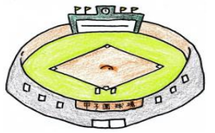
新幹線16両分と同じ長さです。



貯水池面積

7．5Km²

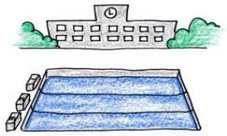
甲子園球場の約188倍の面積です。



総貯水容量

3億1千6百万m³

学校の25mプール約75万杯分です。

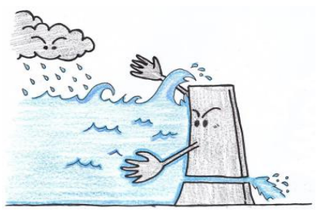


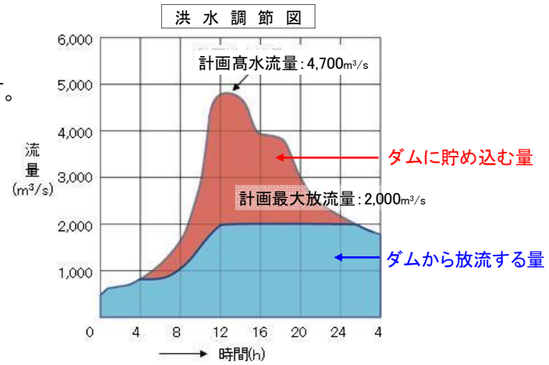
早明浦ダムの目的

早明浦ダムは、吉野川水系における水資源開発の中核をなすもので、洪水調節、流水の正常な機能の維持、新規用水の供給を行うとともに発電を行う多目的ダムです。

1．洪水調節

台風などによる洪水時に下流の洪水被害を軽減します。

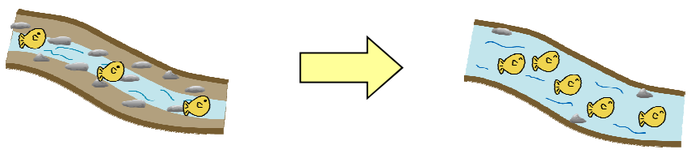




2．流水の正常な機能の維持

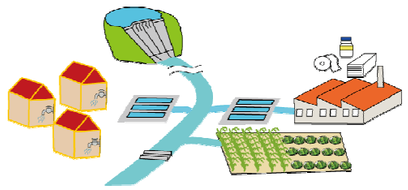
河川環境を維持するため、いつも川に水が流れるようにします。

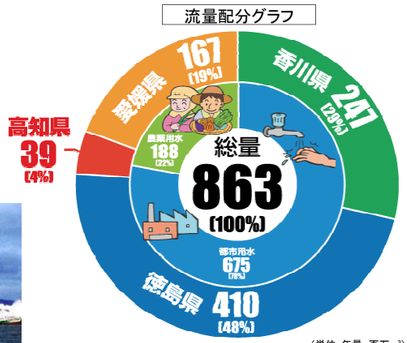
雨が降らず日照りが続いたときでも、魚などの生物が生活でき、ダムを造る前から川の水を利用していた人達が困らないように、ダムに貯めた水を計画的に流します。



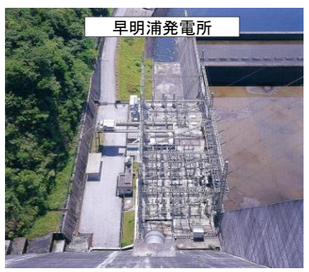
3．新規用水の供給

ダムに貯めた水を計画的に流し、四国四県の農業用水・都市用水(水道、工業)の新規用水として使用します。ダムから流した水は他のダムや水路を通じて各家庭や工場などへ送られます。





4．発電（水力発電）

ダムに貯めた水を流すときの、水の落差を利用して電気をつくります。

- 有効落差：最大７６m
- 使用水量：最大６５m³/s
- 運転開始：昭和47年2月7日
- 最大出力：42,000kw
- 事業者名：電源開発株式会社